

苦痛から
解放されたい方の
駆け込み院



温活

RACINE

★ RACINEが考える健康とは★

身体の中かの環境を常に整へ、

”輝き続けられる身体”を維持させ

不調である根本原因を突き止め、解決するためのカウンセリング、施術を行うことで

“人間が本来持っている自然治癒能力”

を引き出す提案を致します。



“本来人間が持っている
自然治癒能力”
高めるには

自然治癒力 ↔ 生命力

『当院が考える九つの柱』

- ①骨格バランスの安定
- ②痛み、苦痛からの解放と安定
- ③自律神経バランスの安定
- ④栄養バランスの安定
- ⑤ストレスバランスの安定
- ⑥運動バランスの安定
- ⑦血糖値スパイクの安定
- ⑧気滞循環バランスの安定
- ⑨温活

“自然治癒力”を
高めるためには

骨格
バランス
の安定

温活

痛み、
苦痛からの
解放と安定

気滞循環
バランス
の安定

自律神経
バランス
の安定

血糖値
スパイク
の安定

栄養
バランス
の安定

運動
バランス
の安定

ストレス
バランス
の安定

① 背骨バランスの安定

背骨の歪みとは：

人間の体は、背骨と呼ばれている柱に支えられ、24個の骨が積み木の様になっており、正面から見るとまっすぐですが、横から見ると首の部分が緩やかに前に、背中部分が後ろに、腰の部分が再び緩やかに前に弯曲しているS字形（S字弯曲）をしている。

背骨は体の柱の役目と背骨の穴の中を脊髄（せきずい）という神経の束が通っており、**これら脊髄から枝分かれした末梢神経が全身の筋肉や内臓、あらゆる器官を動かしている。**

”人体の柱である背骨”正しい位置に矯正する事により、全身の機能を高め、最大限に且つ各々が持つ力を発揮させる事ができる。

”背骨の歪み改善、背骨のズレの矯正”が最重要”であり、この骨格の**左右のズレ、前後のズレ、筋膜のねじれ**を矯正する事により自己修復能力の高めていく事が可能。

五十肩、頸椎ヘルニア、腰椎ヘルニア、ギックリ腰、肩こり、腰痛、首こり、頭痛、口内炎（ヘルペス）、胃痛、生理痛、自律神経失調症.....ほとんどの症状は症状であり原因ではありません。



②自律神経バランスの安定

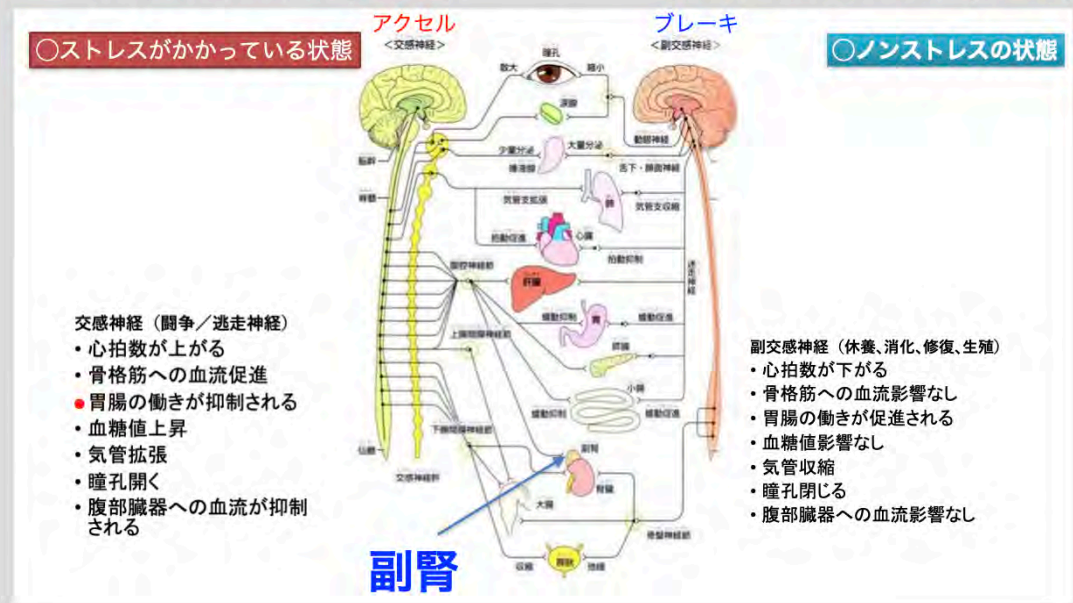
『交感神経 — 副交感神経で構成』

日中活動している時には交感神経が優位に、日が沈み暗くなると副交感神経が優位になりますが、交感神経と副交感神経のバランスを保つことで、心の安定を保つことができます。昨今のストレス社会など、様々な原因でこのバランスが崩れてしまい原因不明の「体調不良」や「慢性疲労」などの症状に悩まされている方が非常に増えています。

『交感神経』と『副交感神経』のバランスを保てる様に頸椎の矯正・調整によりメンタルの安定に繋がります。

左が交感神経(亢進)

右が副交感神経(抑制)



③ 栄養バランスの安定

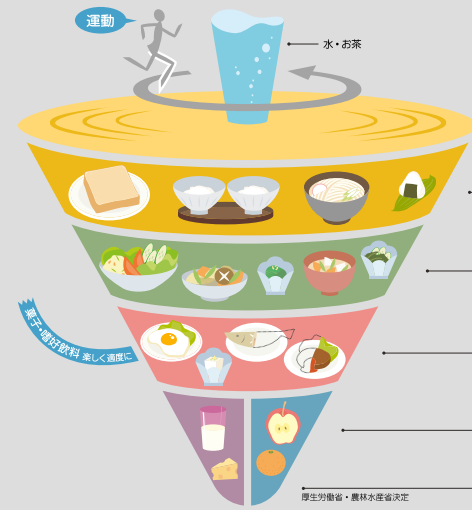
私たちが毎日当たり前のように取っている食事は「体に栄養を与える」という重要な役割があり、健康的な体をつくるには、**五大栄養素**

(タンパク質、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラル)
三大食品群

(・炭水化物・タンパク質・ビタミン、ミネラル)

が含まれた食品が欠かせません。
 必要な栄養素を取り入れて、不必要な物を排泄させてあげる事で、エネルギーに満ち溢れ自己修復能力を引き出す事が可能となり、『**摂取→消化→吸収→代謝→運搬→排泄**』の一連の流れがスムーズに行える体になるように促す事が大事です。

骨格のバランスと栄養学に基づく食育を、上手に組み合わせる事で、エネルギーに満ち溢れる日常を送れ、特に**“消化”**に着目、未消化のまま腸に運ばれてしまうと、腸に負担をかけるだけではなく、免疫機能の低下に繋がり、免疫細胞の7割以上は腸に存在しているので、腸を健全な状態に保つためには**“消化”**がとても大切です。



食事バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

1日分	料理例
5-7 主食 (ごはん、パン、麺) ごはん(中盛り)だったら4杯程度	1つ分 = ごはん小盛り1杯、おにぎり1個、食パン1枚、ロールパン2個 1.5つ分 = ごはん小盛り1杯、うどん1杯、ももそば1杯、スパゲッティ
5-6 副菜 (野菜、きのこ、いも、海藻料理) 野菜料理5皿程度	1つ分 = 野菜サラダ、お豆腐とわかめのお味噌汁、ほうれん草の油揚げ、ひじきの煮物、煮豆、きのこステーキ 2つ分 = 野菜の漬物、野菜炒め、芋の煮つけ、かぼちゃ
3-5 主菜 (肉・魚・卵、大豆料理) 肉・魚・卵・大豆料理から3皿程度	1つ分 = 鶏肉、豚肉、鶏たまご、目玉焼き、焼肉、魚の天ぷら、まぐろの刺身 2つ分 = ハンバーグステーキ、豚肉のしょうが焼き、鶏肉のから揚げ
2 牛乳・乳製品 牛乳だったら1本程度	1つ分 = 牛乳200cc、ヨーグルト、アイス、チーズ、ヨーグルトドリンク 2つ分 = 牛乳1本分
2 果物 みかんだったら2個程度	1つ分 = みかん1個、りんご半分、かぼちゃ、バナナ、ぶどう、みかん、りんご

厚生労働省・農林水産省決定
 ※SIVにはサービング(食事の提供量の単位)の略



④ ストレスバランスの安定

物理的：暑さや寒さ、騒音や混雑、公害物質、薬物、素欠乏・過剰、一酸化炭素など

化学的：公害物質、薬物、酸素欠乏・過剰、一酸化炭素など

心理的・社会的：人間関係や仕事上の問題、家庭の問題など

ストレスを受けると大脳辺縁系がストレスをキャッチし、ストレスから体を守るために、視床下部から下垂体に（ACTH）副腎刺激ホルモンを分泌する命令が出て、副腎からコルチゾールというホルモンを分泌して体を守ります。

コルチゾールはとても厄介で過剰でも過少でも体に害を及ぼします。

“頸椎の矯正、調整をする事で自律神経のバランスを安定させる施術”をし、頸椎1番にある副交感神経の一部でもある『迷走神経をソフトに刺激する事により、乱れた神経系を安定させ』ストレスバランスの安定に繋がります。



⑤運動バランスの安定

バランス能力とは、静止または動的動作における姿勢維持能力のことで、この能力は“感覚系・中枢司令系・筋力系”などの要素によって決まります。

静止姿勢または動的動作中の姿勢を任意の状態に保ち、また不安定な姿勢から速やかに回復させる能力を意味します。スポーツ選手においては適切な姿勢を保つ能力は、競技力における重要なボディコントロール能力のひとつとなります。

姿勢の保持は、視覚情報・体性感覚情報（筋・腱・関節からの情報、足裏等の圧感覚情報など）・前庭系の情報（内耳の三半器官）などを基に脳が中枢処理を行ない、出された司令を骨格筋が実行することで、これらの総合的な運動バランス能力に関わっています。

バランスボードや下駄などを用い、不安定な状態で力み・脱力を体感することで、神経系の回路がより繋がり易くなり、結果的に体のバランス感覚も良くなり、上半身・下半身の連動性へと繋がっていきます。



⑥血糖値スパイクの安定

誰でも食後血糖値が一時的に高くなりますが、これを抑えられることが出来たら、体への負担を減らす事が可能となる

食後血糖値が高い状態が続くと、糖尿病を発症及び、予備群である疑いが高まり、動脈硬化の危険因子要因として放置しておく、血管障害が進み脳卒中や心筋梗塞などを引き起こす恐れがあります。

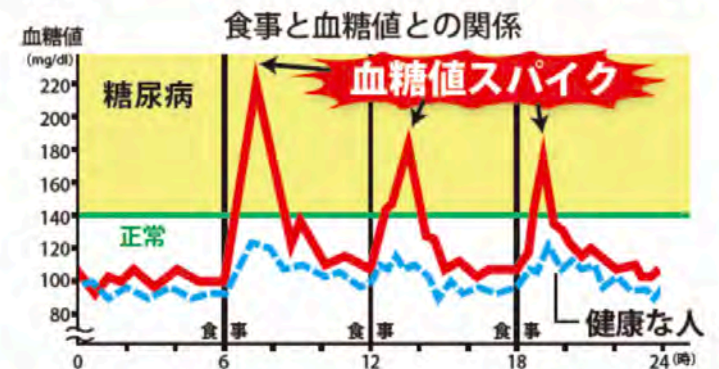
空腹時血糖値が正常だったり境界域にある場合でも、食後の血糖値だけ大幅に上昇する場合は「隠れ糖尿病」である疑いがあります。

食後の睡魔、倦怠感、脱力感や、慢性疲労、頭痛.....

この様な方は血糖値スパイクが起こっている可能性があります。

あなたは大丈夫？「血糖値スパイク」！

糖類を一度に食べる ▶ 血糖急上昇。それが「血糖値スパイク」



若い人

痩せている人

健診で異常がなかった人

でも、

⑦気滞循環バランスの安定

気滞とは気がスムーズに流れない状態を表す漢方独特の概念です。

「気」は「元気」「気が晴れる」などの言葉に通じますが、体や精神を健康に保つのに必要なエネルギーを指します。

「気」が足りないのが「気虚」、

「気」の流れがスムーズでないものが「気滞」、エネルギーの停滞です。

この気滞の流れも背骨の矯正によって流れが良くなり、気の流れがスムーズになります。



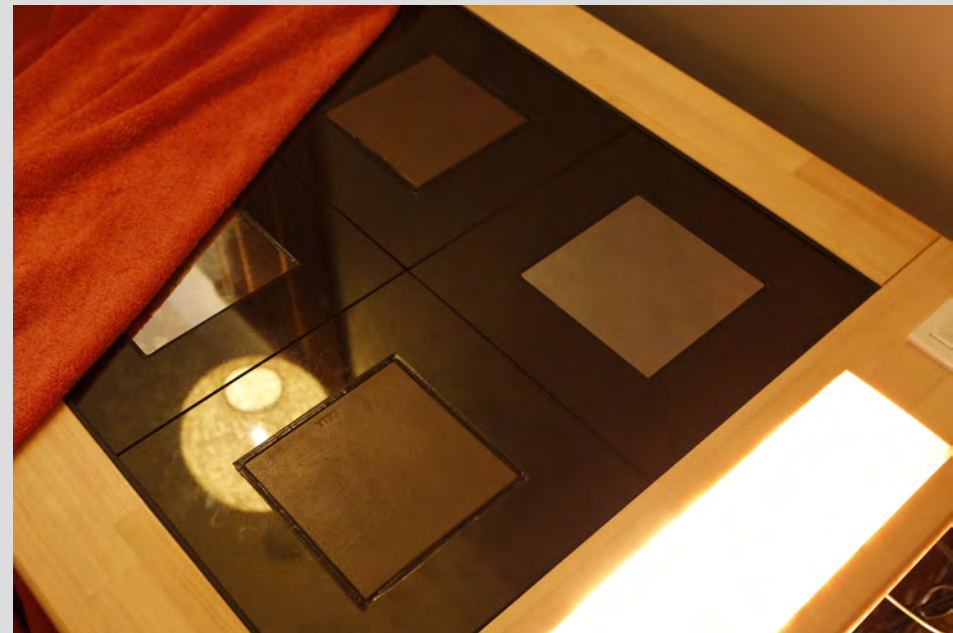
⑧ 温活

人間の理想的“**体温は36.5度**”と言われています。

体温が1℃下がると、エネルギー代謝が12%下がり免疫力は30%ダウンすると言われております

エネルギー代謝というのは、食事でとった栄養を酵素などの働きで、運動するエネルギーや、体温を維持するエネルギーに換えることです。また、体温が1℃下がると、免疫力を司る白血球働きが大きくダウンすると言われ、体温が35℃まで落ちてしまうと癌細胞が活性化して、体温が1℃上がると一時的に免疫力が5～6倍にアップするため、36,5℃～37℃では免疫力が活発になると言われております。

※当院では：“ハイブリッド温熱療法にて体温を上げ体質改善”
の推奨をしています。



施術による改善



プレミアム手技療法
ハイブリッド温活

食事による改善



栄養学に基づく食育
カウンセリングによる栄養指導

占術による改善



生まれ持った流れを的確にアドバイス

RACINE独自の施術

プレミアム手技療法：一子相伝秘術 らせん操法について

武術の技を施術に応用した奥義

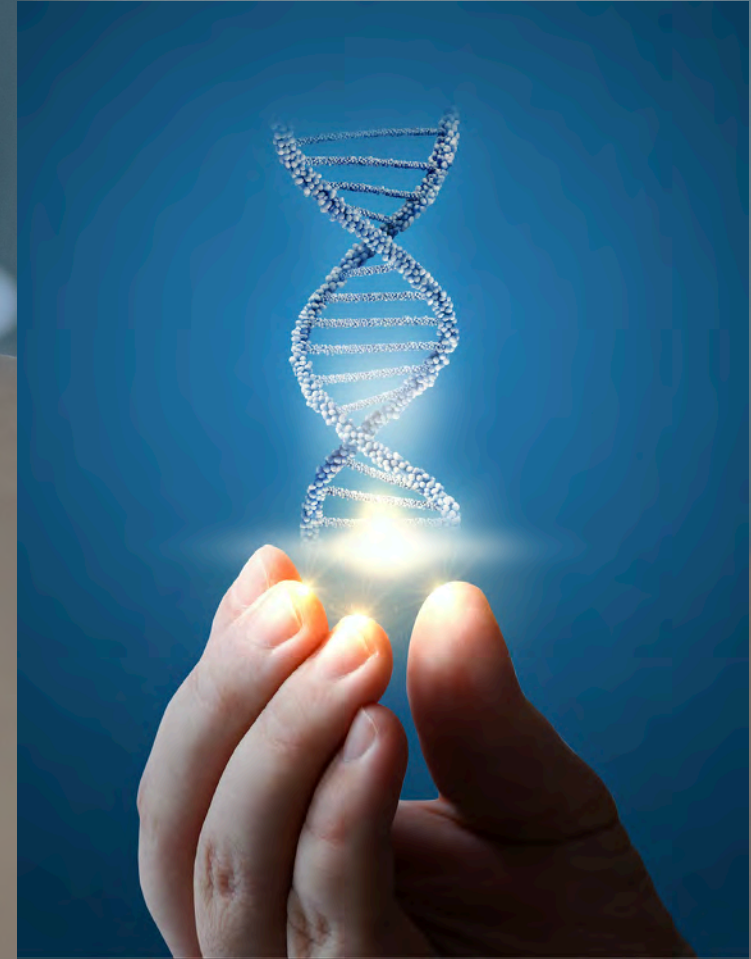
各症状と身体の不調の原因を探り、オーダーメイドにて取り除くオンリーワン手技

手の内、立ち位置、間合い、呼吸全てを整えながら一人一人の問題点を的確に探し
施術していきます。

通常の指圧とは違い、強く押したり、揉んだりせず、ご自分達の長年の癖で
左右のねじれを起こしている骨格を元に戻すお手伝いをし、

硬く深い部分の深層筋膜などは、“ひねり圧”を使ってあるべき状態に戻し、それを
記憶させる事で、“自然治癒力を高め体を良い状態に”維持、記憶させていく手法

また、自然治癒能力の相互により、体を本来の状態に戻していくと、血液循環、神経伝達
がスムーズになり結果的に人間が本来持っている免疫力やエネルギーをアップさせる事に
繋がります。



プレミアム手技療法：モルフォセラピー

モルフォセラピーとは

背骨のズレを1キロg以下の力で矯正していく事が出来る整体法です。

ズれている箇所では神経が圧迫されて痛み、痺れ、運動障害、首こり、肩こり、腰痛が起こります。

モルフォセラピーは根本原因を矯正していく手技です。

神経、気血の流れを正常にする事で様々な症状で悩まれている方のお役に立てる手技です。

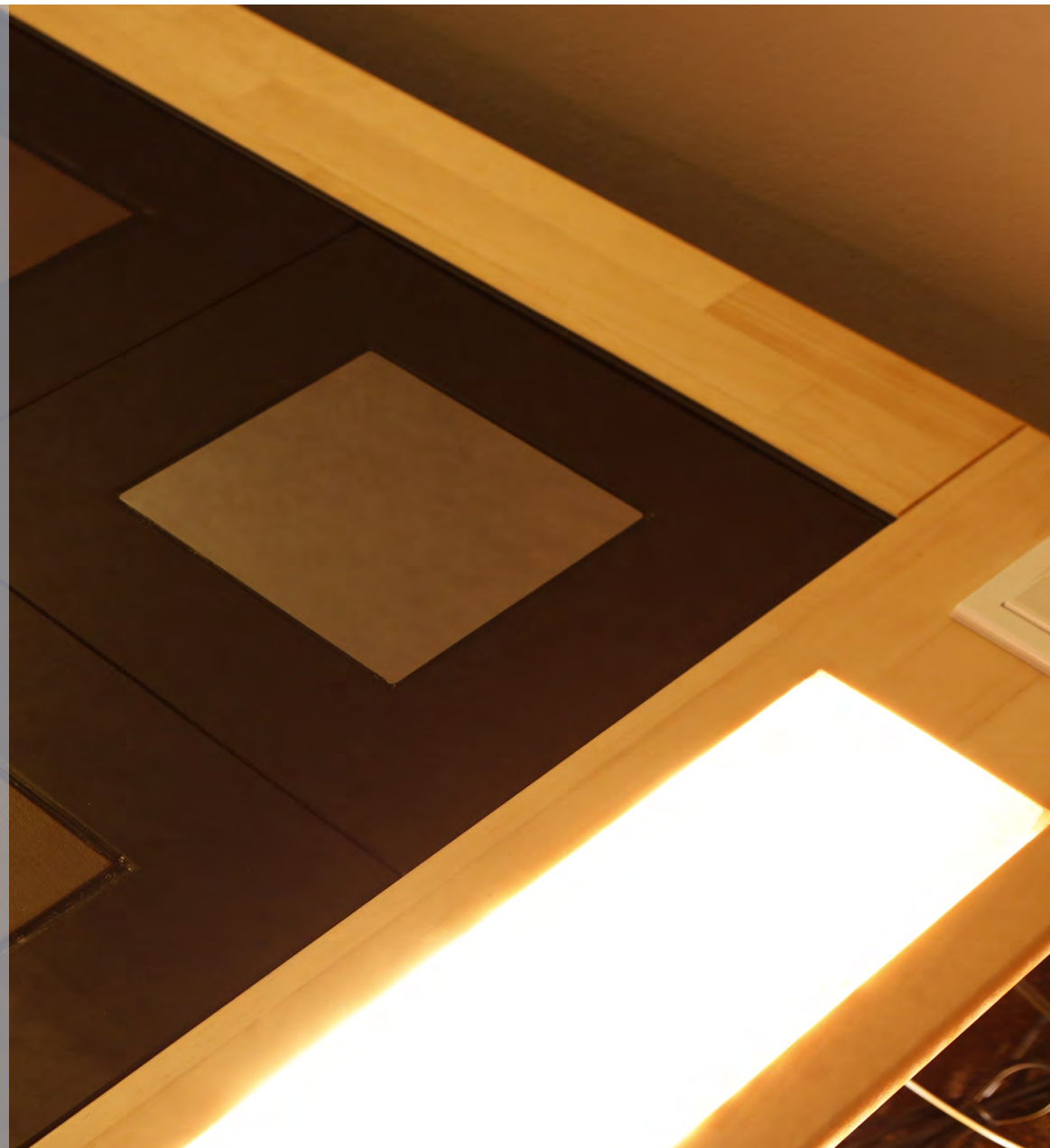
通常の指圧とは大きく異なり、強く押ししたり、揉んだりせず、長年の癖や様々な原因で左右の捻れを引き起こした骨格を正常場所へ記憶させる手法です。



ハイブリッド温熱療法

「冷え」は万病の元と言われており、実際に体温が1度下がると免疫力が13%落ちると言われており、冷えの改善をよりスムーズに行う為に、このハイブリッド温熱療法を導入。

ハイブリッド温熱機の特異な鉱石により熱を”体の芯部”に届け、細胞の活性を高め、正常細胞を増やし、自律神経の機能を整え、血液、リンパの循環を活性化させ内臓機能を向上させることで、自己免疫機能を強化することができ、身体を効率的に温めることで、むくみやだるさ、肩こり、腰痛の改善、肌年齢の維持、ダイエット効果、なども期待できる。当院では、施術と一緒にハイブリッド温熱器を併用し、より高い効果を実感、体感可能。



施術の主な流れについて

①対面 カウンセリング

予約時の情報と当日のお客様の状態を触診なども行いながら確認。お客様の不調の原因がどこにあるのかをお調べし、施術を行います。

②温熱器による 細胞の活性化

日本に数台しかないハイブリッド温熱器で、身体の細胞を活性化させ、体温を上げることでご自身が本来持っている免疫力を高めます。

③プレミアム手技で の施術

深層筋膜から身体の異常や捻れを解消。正しい状態を身体に記憶させることで一時的ではなく持続性の高い施術を施します。

④プレ カウンセリング

施術後、体の不調、不安を取り除くためのオーダーメイド施術プランをご提案させて頂き常に良い方向へ導くサポートをコミット致します。

医療監修ドクター



川島 朗 先生
医療監修

医師／医学博士／東京有明医療大学
保健医療学部鍼灸学科 教授



関野 吉晴 先生
医療監修

探検家／人類学者／医師／
武蔵野美術大学名誉教授／
ダビンチクリニック渋谷院長
モルフォセラピー医学研究所所長

院長プロフィール



RACINE 院長

加藤 智雲 (Kato Chiun)

1983年、静岡県静岡市生まれ。柔道整復師、らせん操法伝授者、モルフォセラピスト

幼少期に10年近く原因不明の円形脱毛症を患ったことで、心の痛みが身体の不調にも繋がる事を知る。

建築業、運送業、企業経理、税理士事務所、美顔師など多様な仕事に従事するも、

自分自身の人生の使命は、“身体の不調の改善”であると気づき、国家資格である柔道整復師を取得。

国家資格を取得以前より一子相伝秘術「らせん操法」を師匠より伝授。

「らせん操法」伝承者の一人としてを、他院で疾患の改善が見られなかった多くの患者さんの症状を改善し秘伝である、らせん操法治療で多くの方を救いたく2020年に「RACINE」を開院。

現在は、エグゼクティブフィジカル・セラピストとして、経営者のフィジカル面、メンタル面の不調の改善を行っている。

趣味は、各業界の一流のモノ・サービスを体験する事。他には、登山、スキー、スノーボード、ドライブなど。

娘2人の父として休日は、愛娘2人と映画、水族館、公園に行くなど、家族の時間を過ごす。

RACINE (ラシーヌ) 恵比寿

住所

〒150-0021

東京都渋谷区恵比寿西1-6-7 サニーガーデン 402号

メールアドレス

info@racine-seitai.com

LINE ID

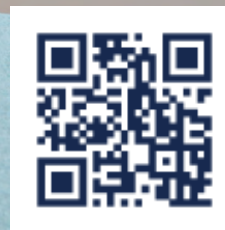
@sqo8753t



LINE



Facebook



患者様の声

●頸椎ヘルニアで選択肢が手術しかないと言われてた患者様

病院では手術をしても100%の回復見込みはないが、現時点の医学では、手術の道しかないと言われ、繊細な指のタッチを求められるプロの音楽家として手術以外の別の何かがないかと思っていた。

音楽家人生を辞めるしかないと言われていた方が、当院での施術を受けられ、最初の2ヶ月は痛みの減少が少なく..良くなるのかと、ご本人様も不安になられておりましたが、週2回信じ続けて通ってこられ、神経圧迫が少しずつ緩んでいき、3ヶ月目に入った頃に肩から指にかけての痛みや痺れが軽減し始め、握力が8まで落ちてしまっていたのが、施術をするたびに15、20となり5ヶ月目には痛みはほぼ無くなり、6ヶ月後には痺れも無くなり、握力も戻り、音楽活動に復帰する事が出来、今現在は月1回の治療及びメンテナンスで、経過状態も良好です。